

平成25年度 フードスペシャリスト資格認定試験実施要領

平成25年6月24日

公益社団法人日本フードスペシャリスト協会

1. 試験日時

平成25年度のフードスペシャリスト資格認定試験（以下「認定試験」といいます。）は
平成25年12月15日（日）10時30分から実施します。

2. 試験実施場所

認定試験は、フードスペシャリスト養成機関（以下「養成機関」といいます。）として認定された学部・学科等を有する**別添**「平成25年度フードスペシャリスト資格認定試験実施校一覧」記載の教育機関（以下「受験教育機関」といいます。）を会場に実施します。

3. 受験資格者

- (1) 認定試験の受験資格を有する方は次のとおりです。
 - 一 養成機関の最終年次に属する学生
 - 二 4年制大学に置かれた養成機関の第3年次に属する学生で、第3年次中に所定の授業科目の単位の全てを修得すると認められる方
 - 三 養成機関を卒業しており、かつ、養成機関において所定の授業科目の単位の全てを修得済みあるいは修得見込である方
- (2) 受験資格の認定は、養成機関の在籍者にあつては、在籍養成機関の属する教育機関（以下「在籍教育機関」といいます。）が、養成機関を卒業した非在籍者にあつては、卒業養成機関の属する教育機関（以下「卒業教育機関」といいます。）が行うものとします。

4. 受験教育機関

- (1) 養成機関の在籍者は、在籍教育機関で受験するものとします。
- (2) 養成機関を卒業した非在籍者は、卒業教育機関での受験を原則としますが、これによりがたい事情のある方は、受験申請書に受験希望地を明記し、協会が斡旋する教育機関で受験するものとします。

5. 受験申請

〔養成機関在籍者〕

- (1) 養成機関在籍者にあつては、在籍教育機関を経由して受験申請を行うものとします。
- (2) 養成機関在籍者は、在籍教育機関に対してその定めるところにより、受験料4,000円を添えて受験申請を行って下さい。

なお、申請期限は各教育機関が独自に定めます。通常、協会の受付期限よりも早めに締め切られますので、受験希望の方は注意して下さい。
- (3) 在籍教育機関は、(2)を取りまとめのうえ、**別紙1**の様式による受験者名簿を簡易書留郵便など送達を確認できる方式で**平成25年10月15日(火)までに**協会に送付して下さい。

- (4) 振込にあたって各教育機関は、認定試験の実施に伴う経費の一部に充てるため、協会から助成する額（受験料の15%に相当する額）を控除して下さい。なお、この方式によりがたい場合は協会にご相談下さい。
- (5) 各教育機関は、受験者名簿の発送及び受験料の振込に時期を合わせ、次の資料を協会あてにE-Mail添付で送付して下さい。[協会のE-Mailアドレスはjimu@jafs.org](mailto:jimu@jafs.org)です。
- ア 受験者名簿の電子ファイル
- イ [別紙2](#) 受験料振込通知書の電子ファイル

〔養成機関非在籍者〕

- (6) 養成機関を卒業した非在籍者にあつては、協会に直接受験申請を行うものとします。
- (7) 養成機関非在籍者は、平成25年9月2日(月)から9月30日(月)までに、以下の書類を簡易書留郵便など送達を確認できる方式で協会に送付するとともに、受験料4,000円および連絡通信費500円の合計4,500円を一括して協会に振り込んで下さい。
- ① [別紙3](#)の様式による受験申請書（写真および受験料・連絡通信費の振込明細書のコピーを貼付のこと）
- ② 卒業教育機関から交付を受けた受験資格証明書
- (8) 卒業教育機関は、既卒の受験希望者の「受験資格証明書交付申請書」([別紙4](#))に基づき本人の受験資格を確認のうえ、[別紙5](#)又は各大学の様式(卒業証明書と単位修得証明等)による受験資格証明書を交付して下さい。

〔共通留意事項〕

- (9) 在籍教育機関による受験料の振込先は次のとおりです。また、養成機関非在籍者の受験料や連絡通信費の振込先は、みずほ銀行のみとします。

口座名義	社団法人 日本フードスペシャリスト協会		
振込先	みずほ銀行	<small>オオツカ</small> 大塚支店	普通 2102419
	三井住友銀行	<small>スガモ</small> 巣鴨支店	普通 7195855
	三菱東京UFJ銀行	<small>オオツカ</small> 大塚支店	普通 0042968

- (10) 受験料や連絡通信費の領収書は、お振込銀行の振込明細書（「振込金受取書」又は「利用明細票」）をもって代えさせていただきます。
- (11) 一度納入された受験料や連絡通信費は、返納できませんので、あらかじめご了承下さい。
- (12) 受験者名簿に記載されていない方あるいは受験申請書が提出されていない方および受験料等の振込のない方は、認定試験の受験を認めません。

6. 試験の実施体制

- (1) 各受験教育機関は、フードスペシャリスト養成課程を担当する専任教員（学内兼任教員を含む）又は事務担当責任者の中から試験実施委員を選任し、平成25年10月末日までにその職名及び氏名を[別紙6](#)の様式により協会にお知らせ下さい。

試験実施委員は1名に限りません。受験者の数に応じ、円滑な試験の実施に必要な数の試験実施委員を選任・通知して下さい。

- (2) 協会は、受験教育機関に対し、そこで受験を希望する非在籍者がいる場合、その名簿を平成25年10月18日までに送付しますので、当該受験教育機関は**別紙7**の様式による受験会場案内を平成25年10月末日までに協会にご報告下さい。
- (3) 協会は、平成25年11月20日までに非在籍受験者本人に受験票と受験会場案内を送付します。
- (4) 協会は、平成25年12月9日(月)までに、各受験教育機関に、そこで受験する在籍者の受験票と非在籍受験者の受験申請書の写し(写真付)、試験問題および解答用紙を簡易書留郵便など送達を確認できる方式で送付します。
- (5) 試験実施委員は、在籍者の受験票について確認のうえ受験者にお渡しください。
- (6) 試験実施委員は、試験問題及び解答用紙について、到着後速やかに部数を確認のうえ再厳封し、試験実施直前まで学内に厳重に保管して下さい。
- (7) 各受験教育機関における認定試験の実施に伴う経費は、それぞれの教育機関の負担とします。なお、非在籍者が受験する教育機関には、その受験者数に応じた額(受験料の15%に相当する額)を協会から助成します。

7. 認定試験の実施

- (1) 試験実施委員は、平成25年12月15日(日)午前10時30分から、**別紙8**「**認定試験実施の手引**」に従い、認定試験を厳正に実施して下さい。
- (2) 試験実施委員は、認定試験後、回収した解答用紙、受験者出欠表(**別紙9**)および非在籍受験者の受験申請書の写しを**平成25年12月18日(水)必着**で協会宛簡易書留郵便など送達を確認できる方式で送付して下さい。なお、送付された解答用紙に欠番がある場合、その受験者は棄権したものとみなします。

8. 認定試験の内容

- (1) 認定試験は100分間とします。
- (2) 認定試験の問題は協会の専門委員会が作成します。
- (3) 問題はいずれも五肢択一方式とし、55問出題します。
- (4) 配点は各問とも2点、110点満点とします。
- (5) 解答用紙はマークシートとします。
- (6) 出題科目は、次の8科目です。

1) フードスペシャリスト論	(設問数6)
2) 食品の官能評価・鑑別論(統計処理を含む)	(設問数8)
3) 食物学(食品学、食品加工学、食商品学等)に関する科目	(設問数8)
4) 食品の安全性(食品衛生、食中毒、有害物質、食品添加物、水質等)に関する科目	(設問数7)
5) 調理学(調理科学を含む)に関する科目	(設問数6)
6) 栄養と健康に関する科目(食品機能論を含む)	(設問数6)
7) 食品流通・消費に関する科目(マーケティングリサーチを含む)	(設問数7)
8) フードコーディネータ論	(設問数7)
- (7) 出題の範囲は、次の通りとします。但し、フードスペシャリストを目指す者が当然注意を払うべき食に関する時事的テーマ(平成25年3月31日までの法令改正を含む。)については、この範囲にかかわらず出題することがあります。

フードスペシャリスト論	協会指定テキスト「三訂フードスペシャリスト論」と「四訂フードスペシャリスト論」の共通記載事項
食品の官能評価・鑑別論	協会指定テキスト「新版食品の官能評価・鑑別演習」第3版の記載事項
食品の安全性に関する科目	協会指定テキスト「改訂食品の安全性」第2版と「改訂食品の安全性」第3版の共通記載事項
栄養と健康に関する科目	協会指定テキスト「改訂栄養と健康」第2版の記載事項
食品流通・消費に関する科目	協会指定テキスト「新版食品の消費と流通」の記載事項
フードコーディネータ論	協会指定テキスト「新版フードコーディネータ論」第2版及び「三訂フードコーディネータ論」の共通記載事項
食物学に関する科目	「フードスペシャリスト養成機関における必修科目の授業内容例」(別紙10)を参照して出題します。
調理学に関する科目	

- (8) 出題の水準は、フードスペシャリストとして必要な基礎の知識・技術を根底に置き、100分間で十分に解答できる程度とします。

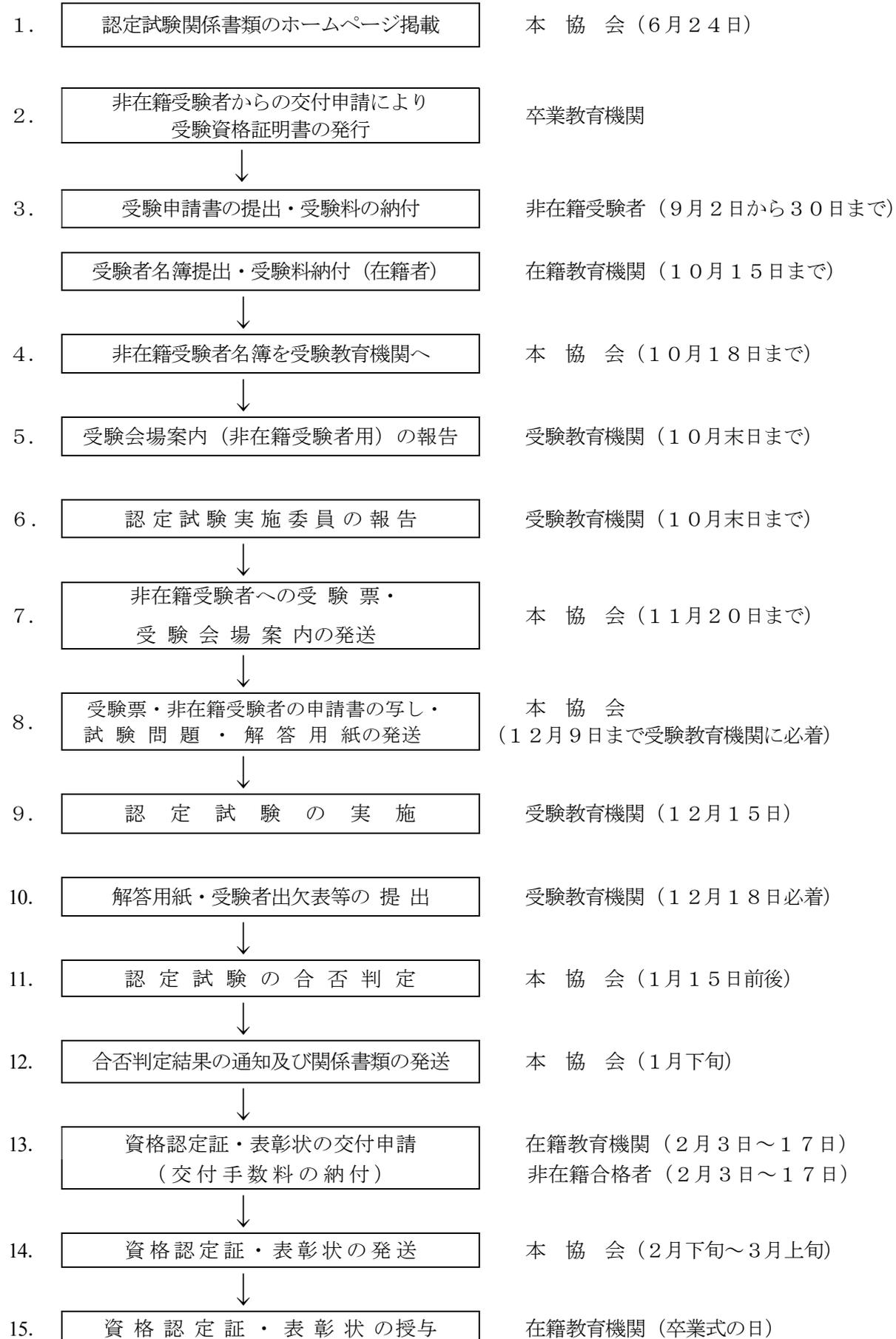
9. 合否の判定

- (1) 認定試験の合否は、得点結果に従って、協会の専門委員会において判定します。
- (2) なお、解答用紙の提出がない受験者は、認定試験を棄権したものとみなします。
- (3) 判定結果は、受験教育機関の在籍者にあつては受験教育機関を通じて受験者に通知します。また、非在籍者にあつては協会から受験者に直接通知します。

10. 資格認定証・表彰状の交付申請・授与

- (1) 認定試験に合格し、養成機関で所定の単位を修得して卒業した者に対し、資格認定証を交付します。また、資格を優秀な成績で取得した者に学校推薦により表彰状を、認定試験に特に優秀な成績で合格した者に専門委員会の推薦により表彰状を授与します。
- (2) これらの交付申請・授与については、それぞれの規程に基づき行います。具体的な手続きについては、在籍者にあつては合格者名簿の発送に併せて、受験教育機関に通知します。また、非在籍者にあつては、合格通知の発送に併せて通知します。

(参 考) 平成25年度フードスペシャリスト資格認定試験チャート



(別紙1)

平成25年 月 日

公益社団法人日本フードスペシャリスト協会
会長 岩元 睦夫 殿

(教育機関名)

(代表者職名) ○ ○ ○ ○ 職印

平成25年度フードスペシャリスト認定試験受験者名簿の提出について

平成25年度フードスペシャリスト認定試験の受験者名簿を**別添**のとおり提出します。

なお、受験者名簿の備考欄に3年次受験と表示している受験者は、本学の○○学部
○○学科○○専攻の第3年次に属する学生であり、第3年次中にフードスペシャリス
ト資格規程第4条に掲げる単位の全てを**別表**のとおり修得する見込みであることを
証明します。

(注) []内は4年制大学であって、3年次受験者が存在する教育機関のみ記載して下さい。

【記入例】*1

(別添1～3)

(別添1) **フードスペシャリスト資格認定試験受験者総数*1**

協会に届けている
現在の名称

		卒業式予定日	平成・西暦	年	月	日*5
受験者数	本学養成機関在籍者		受験者総数		うち3年次受験	
	【1-1】〇〇学部〇〇学科〇〇専攻(5桁コード)*2		5名		2名	
	【1-2】〇〇学部〇〇学科●●専攻(5桁コード)*2		5名		1名	
	合計		10名		2名	

(別添2) **【1-1】フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿*1*3**

養成機関名 〇〇学部〇〇学科〇〇専攻在籍者

外字は、正しく大きく手書きして下さい。欄からはみ出しても結構です。

受験番号*3	フリガナ氏名	生年月日	性別	備考
001	アラカワ ヨウコ 荒川 洋子	63.07.28	女	荒 最終年次受験*4 (50音順)
002	タカハシ ヨシエ 高橋 芳江	63.10.29	女	
003	タナカ シュウヘイ 田中 周平	元.01.06	男	
004	カトウ カズオ 中村 和雄	元.08.13	男	3年次受験**6
005	セガワ アケミ 瀬川 明美	02.02.11	女	3年次受験**6 3年次受験**4 (50音順)
				〇〇年〇〇学部〇〇学科入学 〇〇年〇〇学部〇〇学科卒業

(別添3) **【1-2】フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿*1*3**

養成機関名 〇〇学部〇〇学科●●専攻在籍者

注：受験番号は(別添 2)からの連番となります。

受験番号*3	フリガナ氏名	生年月日	性別	備考
006	イノウエ アキオ 井上 昭夫	元.02.14	男	
007	キムラ アヤカ 木村 綾香	63.06.25	女	
008	ノムラ テツヤ 野村 哲也	60.05.23	男	

*印は〔受験者名簿記載上の留意事項〕の番号を参照して下さい

〔受験者名簿記載上の留意事項〕

1. フードスペシャリスト養成機関を有する大学と短期大学を併置している場合は、受験者名簿を別個に作成し提出して下さい。
2. (別添1) 受験者総数は、複数の養成機関を有する場合、養成機関ごとに記入して下さい。また、養成機関の5桁コードは、別添の「平成25年度フードスペシャリスト資格認定試験実施校一覧」記載の5桁コードを記入して下さい。
養成機関名(学部・学科等)は、協会に届けている現在の名称を記入して下さい。
受験者の入学(編入)時の名称と異なる場合は、別添2・3の備考欄に「〇〇年〇〇学部〇〇学科入学(編入)」のように記載して下さい。
3. 受験者区分は在籍者を養成機関ごとに(別添2)【1-1】、(別添3)【1-2】のように分けて作成して下さい。受験番号は、3桁の通し番号として下さい。
4. 受験者氏名は、受験者区分ごとに氏名の50音順に記載して下さい。但し、4年制大学で3年次受験者がある場合、まず最終年次在籍者を50音順に記載し、次いで3年次受験者を50音順に記載して下さい。
氏名の表記は、戸籍抄本又は住民票の記載と同じにして下さい。なお、電子データでの名簿管理において注意を要する標準的の文字以外の文字(外字作成を必要とする文字、ソフトウェアによって文字化けする可能性のある文字など)を使用する場合は、当該文字を朱筆で囲んで、**備考欄に大きく手書きで記入して下さい**。
フリガナは必ず入力して下さい。(ルビ機能は使わないで下さい。)
5. 卒業式予定日及び受験者の生年月日の表記は、原則として元号表記とし、卒業式予定日は「平成26年3月10日」のようにきちんと表記し、生年月日は「昭和」を省略し「63.08.06」のように簡略表記して下さい。また、平成生まれは「平成」を省略し「元.08.06」「02.07.01」のように表記して下さい。
但し、卒業証書の表記と統一をとる観点から、フードスペシャリスト資格認定証に記載する交付日付及び生年月日を西暦表記にすることを希望される場合は、卒業式予定日を「2013年3月10日」のように西暦で完全表記し、生年月日を「89.08.06」のように西暦で簡略表記して下さい。
なお、留学生等の理由で特定受験者についてのみ西暦表記の認定証を希望する場合は、その受験者の生年月日について、「西 89.08.06」のように西暦簡略表記の前に「西」を付けて下さい。
6. 備考欄について
 - (1) 3年次受験者の場合は、「3年次受験」と明記して下さい。
 - (2) 受験者の入学(編入)時の名称と異なる場合は、備考欄に「〇〇年〇〇学部〇〇学科入学(編入)」のように記載して下さい。
 - (3) 全く同一内容の記載が続く場合でも、コピー・貼付け機能を活用し、きちんと記載して下さい。「ㄱ」の使用は不可です。資格申請者名簿作成にも活用できるようにするため、ご協力をお願いします。
 - (4) **外字は、備考欄に大きく手書きで記入して下さい。**

(別添1)

フードスペシャリスト資格認定試験受験者総数

学校名			
卒業式予定日		平成・西暦	年 月 日
受 験 者 数	本学養成機関在籍者	受験者総数	うち3年次受験
	【1-1】○○学部○○学科○○専攻 (5桁コード)	名	名
	【1-2】○○学部○○学科●●専攻 (5桁コード)	名	名
	合 計	名	名

(別添2)

【1-1】 フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇専攻在籍者
-------	---------------------

受験者区分 受験番号	フリガナ 氏 名	生年月日	性別	備 考
001				
002				
003				
004				
005				
006				
007				
008				
009				
010				
011				
012				
013				
014				
015				

(別添2)

【1-1】 フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇専攻在籍者
-------	---------------------

受験者区分 受験番号	フリガナ 氏 名	生年月日	性別	備 考
016				
017				
018				
019				
020				
021				
022				
023				
024				
025				
026				
027				
028				
029				
030				

(別添3)

【1-2】フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科●●専攻在籍者
-------	---------------------

注：受験番号は（別添2）からの連番となります。

受験者区分 受験番号	フリガナ 氏 名	生年月日	性別	備 考
031				
032				
033				
034				
035				
036				
037				
038				
039				
040				
041				
042				
043				
044				
045				

(別添3)

【1-2】フードスペシャリスト資格認定試験受験者名簿

養成機関名	〇〇大学〇〇学部〇〇学科●●専攻在籍者
-------	---------------------

注：受験番号は（別添2）からの連番となります。

受験者区分 受験番号	フリガナ 氏名	生年月日	性別	備考
046				
047				
048				
049				
050				
051				
052				
053				
054				
055				
056				
057				
058				
059				
060				

(別 表)

3年次受験に係る単位修得証明

養成機関名 (5桁コード)	単位修得証明事項		
規定科目	左記規定科目に対応する 協会認定開設科目名	単位数	備考
フードスペシャリスト論		
食品の官能評価・鑑別論		
食物学に関する科目		
食品の安全性に関する科目		
調理学に関する科目		
栄養と健康に関する科目		
食品流通・消費に関する科目		
フードコーディネーター論		
単 位 合 計			

(注)養成機関が複数で、単位修得証明事項の内容が異なる場合は表を分けて記載して下さい。

(別紙2)

フードスペシャリスト資格認定試験受験料振込通知書

本通知書の様式は、一つの学校法人が大学と短期大学を併置し、そのいずれもがフードスペシャリスト養成機関を有している場合に、大学の受験料と短期大学の受験料を同時に振り込む場合を想定しています。これ以外の場合は、該当のない項目について「該当なし」と記入して下さい。

平成25年 月 日

1. 通知者概況

設置者名			
大学名			
短期大学名			
事務担当者	職名	氏名	
	電話 () -	FAX () -	
	E-Mail		

2. 振込概況

振込元名称	(設置者名または大学名)		
振込先銀行	<input type="checkbox"/> みずほ銀行 <input type="checkbox"/> 三井住友銀行 <input type="checkbox"/> 三菱東京UFJ銀行 (該当を■に変換)		
振込日	平成25年 月 日		

振込元名称	(設置者名または短期大学名)		
振込先銀行	<input type="checkbox"/> みずほ銀行 <input type="checkbox"/> 三井住友銀行 <input type="checkbox"/> 三菱東京UFJ銀行 (該当を■に変換)		
振込日	平成25年 月 日		

3. 振込額の積算

	受験者数 (A)	受験料総額 (B=@4,000円×A)	認定試験実施経費 (C=B×15%)	差引送金額 (B-C)
大学	名	円	円	円
短期大学	名	円	円	円
合計	名	円	円	円

認定証交付申請用

認定証交付手数料振込通知書

本通知書の様式は、一つの学校法人が大学と短期大学を併置し、そのいずれもがフードスペシャリスト養成機関を有している場合に、大学の受験料と短期大学の受験料を同時に振り込む場合を想定しています。これ以外の場合は、該当のない項目について「該当なし」と記入して下さい。

平成25年 月 日

1. 通知者概況

設置者名			
大学名			
短期大学名			
事務担当者	職名	氏名	
	電話 () -	FAX () -	
	E-Mail		

2. 振込概況

振込元名称	(設置者名または大学名)		
振込先銀行	<input type="checkbox"/> みずほ銀行 <input type="checkbox"/> 三井住友銀行 <input type="checkbox"/> 三菱東京UFJ銀行 (該当を■に変換)		
振込日	平成25年 月 日		

振込元名称	(設置者名または短期大学名)		
振込先銀行	<input type="checkbox"/> みずほ銀行 <input type="checkbox"/> 三井住友銀行 <input type="checkbox"/> 三菱東京UFJ銀行 (該当を■に変換)		
振込日	平成25年 月 日		

3. 振込額

	認定証交付申請者数 (A)	認定証交付手数料 (B=4,000円)	送金額 (C=A×B)
大学	名	円	円
短期大学	名	円	円
合計	名	円	円

(別紙3)

平成25年度 フードスペシャリスト資格認定試験
受 験 申 請 書

平成 25 年 月 日

ふりがな			性 別
氏 名			男 ・ 女
生 年 月 日	昭和・平成・西暦	年 月 日	写 真 貼 付 欄
連絡先住所	(〒 -)		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 写真を貼る位置 縦 4cm×横 3cm 6ヶ月以内に 撮影したもの 裏面に氏名を記入し のり付け </div>
	自宅電話	- -	
	携帯電話	- -	
	E-Mail		
卒業養成機関名			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 振込明細書を貼る位置 (振込金額合計 4,500円) </div>
卒 業 年 月	昭和・平成	年 月 卒業	
受 験 希 望 地	()卒業教育機関		
	()希望都道府県【 】		

(注)

1 氏名欄の漢字は、合格後「資格認定証」作成に使用しますので、正しく記入してください。

氏名の表記は、戸籍抄本又は住民票の記載と同じにして下さい。

なお、電子データでの名簿管理において注意を要する文字（標準的の文字以外の文字など）を使用する場合は、その文字を赤丸で囲んでください。

2 性別欄の男・女は、選択して○で囲んで下さい。

3 携帯電話番号とE-Mailアドレスは、協会からの連絡に必要ですので必ずご記入下さい。

4 受験希望地はどちらかに○を付けて下さい。

卒業養成機関以外を希望する方は必ず希望都道府県名を記入して下さい。

受験会場(認定試験実施校)は、受験者の希望を踏まえて協会がありません。

*協会記入欄(受験者は記入しないでください)

受験番号	学校コード	受験教育機関名
合格者番号	学校コード	卒業教育機関名

(別紙4)

平成25年 月 日

○ ○ ○ ○大学・短期大学御中

受験資格証明書交付申請書

今年度のフードスペシャリスト資格認定試験を受験いたしたく、受験資格証明書の交付を申請いたします。

記

1. 氏 名

2. 生 年 月 日

3. 卒 業 年 月

4. 卒業学校名・ ○ ○ ○ ○大学・短期大学
学部学科専攻名 ○○学部 ○○学科 ○○専攻

5. 証明書送付先住所

6. 連絡先電話番号

7. E-Mail アドレス

(別紙5)

フードスペシャリスト資格認定試験

受験資格証明書

以下の者はフードスペシャリスト資格規程第4条に掲げる単位を別表のとおり取得、平成〇〇年〇月〇日に本学（養成機関名：〇大学〇〇〇学科〇〇〇専攻）を卒業し、フードスペシャリスト資格認定試験の受験資格があることを証明します。

1. 氏 名
2. 生年月日
3. 卒業年月日

平成 年 月 日

(教育機関名)

(代表者職名)

職印

(別 表)

受験資格に係る単位修得証明

単 位 修 得 証 明 事 項			
規程第4条に定める 授 業 科 目	左記に相当する 本学の開設科目名	単位数	備 考
フードスペシャリスト論 (2単位以上)			
食品の官能評価・鑑別論 (2単位以上)			
食物学に関する科目 (5単位以上)			
食品の安全性に関する科目 (2単位以上)			
調理学に関する科目 (4単位以上)			
栄養と健康に関する科目 (2単位以上)			
食品流通・消費に関する科目 (2単位以上)			
フードコーディネート論 (2単位以上)			
単 位 合 計			

※今年度中に単位修得見込みの場合は、備考欄に「見込」と記入して下さい。

(別紙6)

試験実施委員選任通知書

平成25年 月 日

公益社団法人日本フードスペシャリスト協会
会長 岩元 睦夫 殿

(教育機関名)

(代表者職名) (氏 名)

職印

平成25年度フードスペシャリスト資格認定試験における本学の試験実施委員を下記の通り選任しましたので通知します。

記

氏名

学内職名

氏名

学内職名

※この通知書は、フードスペシャリスト養成機関を有する大学と短期大学が併設されており、試験実施委員が同一の場合であっても、大学、短期大学それぞれについて提出して下さい。

(別紙7)

「〇〇〇〇〇大学」受験会場案内

- (1) 日 時 平成25年12月15日(日) 10:30~12:10
- (2) 受験会場 号館 教室
- (3) 緊急の連絡先
 - 試験前日迄 TEL〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇(担当者〇〇〇〇〇)
 - 当 日 TEL〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇(担当者〇〇〇〇〇)
- (4) 遅刻許容限度 分迄
- (5) 当日の持ち物
 - 受験票、身分証明証、筆記用具（鉛筆HBとプラスチック消しゴム）、
上履き及び下足を入れる袋（会場によっては必要となります）
- (6) 所在地
 - 最寄駅より徒歩 分

地 図

※受験会場には時間の余裕をもってお出かけ下さい。

(別紙8)

認定試験実施の手引

平成25年度フードスペシャリスト資格認定試験は、この手引きに従って実施して下さい。

1. 在籍受験者への事前連絡

- (1) 受験票は試験実施日の遅くとも3日前までに受験者本人に手渡して下さい。
- (2) 受験当日は、当日は受験票及び学生証のほか、筆記用具(鉛筆HB・プラスチック消しゴム)を持参するよう指示して下さい。
- (3) 試験開始(10時30分)の10分前の着席を指示して下さい。
- (4) 学内試験規則に則り、遅刻許容限度を受験者に周知して下さい。

2. 試験会場準備

受験者数に応じて、学内に適当とする試験会場を設営し、受験番号順に机・椅子を配列して下さい。なお、一つの会場に収容できない場合は、会場を分けても結構です。

3. 当日の作業の流れ

- (1) 受験者名簿により出欠を確認して下さい。
- (2) 受験票と学生証(既卒者は身分を証明するもの)を机上に置かせて下さい。
- (3) 既卒者(非在籍者)の本人確認は、別途送付する受験申請書の写し(写真付)で行って下さい。なお、その受験申請書の写しは解答用紙等と一緒に協会へ返送して下さい。
- (4) 学内試験規則に準じ、退出許容時刻を示して下さい。
- (5) 試験問題・解答用紙を配布して下さい。
- (6) 試験問題の表紙にある注意事項を丁寧に読むよう指示して下さい。
- (7) 試験問題の表紙の注意事項に従い、解答用紙に氏名、養成機関コード、受験番号を記載させて下さい。
- (8) 10時30分に試験開始を宣言し、試験問題を開かせて下さい。
- (9) 厳正な試験の実施を監督して下さい。
- (10) 12時10分に試験時間終了を宣言し、筆記用具を置くように指示して下さい。
- (11) 解答用紙を回収して下さい。
- (12) [別紙9](#)の受験者出欠表に必要事項を記入して下さい。

4. 不測の事態への対応

認定試験の当日、気象条件の急変や最寄り公共交通機関の事故・ストライキなど不測の事態が生じた場合の試験開始時刻の繰下げ等の対応については、試験実施委員の判断にお任せします。緊急対応が必要となった理由及び対応の内容を電話、FAX又はE-Mailにより速やかに協会までお知らせ下さい。

(別紙9)

受験者出欠表

(教育機関名)

(試験委員名)

平成25年度フードスペシャリスト資格認定試験における本学の受験者数を下記に通知します。

受験申請者数		欠席者数		差引受験者総数
	—		=	

◎欠席者受験番号—氏名

	受験番号	氏名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

(別紙10)

フードスペシャリスト養成機関における必修科目の授業内容例

I. 日本フードスペシャリスト協会編の教科書（指定テキスト）が存在する下記必修科目の授業内容例については、当該教科書を参照のこと。

フードスペシャリスト論

食品の官能評価・鑑別論（統計処理を含む）

食品の安全性（食品衛生、食中毒、有害物質、食品添加物、水質等）に関する科目

栄養と健康に関する科目（食品機能論を含む）

食品流通・消費に関する科目（マーケティングリサーチを含む）

フードコーディネート論

II. 日本フードスペシャリスト協会編の教科書が存在しない「食物学に関する科目」及び「調理学に関する科目」の授業内容例は次の通り。

A. 食物学（食品学、食品加工学、食商品学等）に関する科目

1. 食品とは

(1) 食品の分類

(2) 食品の機能

(3) 食品成分

a. 水分 b. 炭水化物 c. 脂質 d. タンパク質と核酸

e. 無機質 f. ビタミン g. 色素成分 h. 香気成分 i. 味成分

2. 加工、調理、保存による食品の変化

(1) 食品成分の酵素的変化

a. 酵素とは b. 自己消化 c. 酵素による変色 d. 酵素と味成分

(2) 食品成分の化学的変化

a. 水……………乾燥と凍結、電子レンジ

b. 炭水化物……デンプンの糊化と老化、カラメル化、ゲル化剤

c. 脂質……………乳化、固形脂の性質、脂質の酸化

d. タンパク質…変性、ゲル化

e. 非酵素的褐変反応

(3) 食品の物理的性質

3. 食品加工理論

4. 商品としての食材

- (1) 穀類
 - a. 米 b. 小麦 c. そば d. その他の穀類
- (2) いも及びでんぷん類
- (3) 種実類
- (4) 魚介類
- (5) 獣鳥鯨肉類
- (6) 卵類
- (7) 乳類
- (8) 野菜類
- (9) 果実類
- (10) きのこと類
- (11) 藻類

5. 加工食品

- (1) 発酵・醸造食品・・・酒も含む
- (2) 乾燥食品
- (3) 塩蔵・糖蔵食品
- (4) 冷凍食品
- (5) 缶詰・レトルトパウチ
- (6) 加圧食品
- (7) 穀物加工食品・・・デンプン食品(デンプン糖も含む)、麺類等(即席麺等)
- (8) 水産練り製品
- (9) 肉類加工食品
- (10) 乳製品
- (11) 油脂食品
- (12) 嗜好品・・・茶、コーヒー・ココア、嗜好飲料
- (13) 調味料・・・食塩・甘味料・旨味調味料、だしの素
- (14) 香辛料
- (15) 菓子類
- (16) 酒類

B. 調理学（調理科学を含む）に関する科目（講義2単位以上・実習2単位以上）

1. 献立
2. 美味論
3. 食材の調理機能
4. 調理器具・機器
5. 調理操作と調理システム